

平成30年度 学校通信  
9月号  
8月27日発行

# 成文

尼崎市立成文小学校  
校長 木戸 恒徳  
TEL 06-6418-2361

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>



## 『天寿の穏やかな全う』を

校長 木戸 恒徳

「松谷みよ子さんって知っていますか？」と問われ、「知ってる」と言われる保護者の方は、おそらく、子どもの頃、『児童文学』に親しみ、本をいっぱい読まれていたのではないかと思います。この夏、松谷みよ子さんの『ふたりのイーダ』[「直樹とゆう子の物語」の第一部(講談社 青い鳥文庫版)]を読みました。

『原子爆弾は、パラシュートにつけられて、ゆっくりおちてくると、広島の上空五百メートルのところで、さくれつしたの。そのいっしゅん、ぴかっと、すさまじい光がほとぼしって、ドーンという音があとにつづいたというわ。それからねえ、まるで地獄だったというわ。女の人のかみの毛はみんなさか立ち、だれの顔ももうわからないように火ぶくれて、ひどい人は顔の皮がぺろりとはげてねえ、あごのところにぶらさがって、ふらふらゆれていたんですって。手の皮がぺろりとむけて、まるで、手が四本あるようになっている人もいたって……。二十万人という人が、死んだのよ。たった一発の爆弾で……。[p. 152~153]』



りつ子さんが直樹くんに話して聞かせた、『1945年8月6日の朝、一発の原子爆弾が落とされた』時の広島の様子です。“生命の重さと尊さを愛情をこめて描いた(砂田弘さんの『解説』から)”「直樹とゆう子の物語(全五部)」の第一部であるこの作品に、子ども向けだから…の手加減・妥協はありません。おそらくは、逆でありましょう。これからの世界を、日本を、社会を担っていく《子どもたち》に向けてだからこそ、人の手によって“生命の重さと尊さ”が無残にも踏みじられた《あの時》の『様[さま]』を文字にして伝えたい、物語にして残しておきたい…と作者：松谷さんは思っておられたのではないかと思います。

地震[6月18日]、豪雨[7月5日・6日]、台風[7月：12号][8月：13号～20号]、人の手ではどうすることもできない『災害』が“重く尊い生命”を奪い、傷を与えた《時》でさえも湧き起こる『無念の思い』や『悔しさ』。ましてや、人の手が創り出した『武器・兵器』が、誰かの命令で行使され、“大切に愛しい人”の生命を理不尽に奪い、傷つけた《時》に湧き起こる『悲しみ』や『憤り』は、いかばかりでありましょうか。

今年の夏は、“命の危険”が叫ばれる程の『猛暑』でした。“重く尊い生命”ですが、暑さにさえその“炎”を消されてしまう程の“かよわさ”を持つ“生命”です。だからこそ、『天寿の穏やかな全う』を誰にもに願いたい。保護者の皆様は、お子様に、これから始まる『新たな学期』においてはもちろん、前途に広がる蕩々たる『人生』において幸多く恵まれながら大いに活躍する『生き様[いきさま]』を残して行ってほしいと願っておられると思います。教職員一同、保護者の皆様に負けない『思い』を、改めて肝に銘じ、取り組んでいきたいと思っています。『自然学校』『修学旅行』『成文まつり』『音楽会』など、『行事の多い学期』が始まります。本校の活動に、なお一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



# 今月の予定

H30.8~9月

日	曜日	主な行事
27	月	始業式・清掃(12:00下校)
28	火	
29	水	
30	木	水泳記録会5・6年(12:00下校)
31	金	水泳記録会(予備)(12:00下校)
1	土	
2	日	
3	月	給食開始 身体測定(さくら)
4	火	夏休み作品展(~5日) 身体測定(6年)
5	水	委員会 身体測定(5年) 諸費引落
6	木	代表委員会 身体測定(4年) チャレンジタイム
7	金	身体測定(3年) 5年清掃後下校
8	土	
9	日	
10	月	5年自然学校(~14日) 身体測定(2年)
11	火	身体測定(1年)
12	水	
13	木	チャレンジタイム

日	曜日	主な行事
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	《敬老の日》
18	火	5年清掃後下校 諸費引落
19	水	6年清掃後下校
20	木	4年自然体験・環境改善学習 6年修学旅行(~21日) チャレンジタイム
21	金	
22	土	
23	日	《秋分の日》
24	月	《振替休日》
25	火	6年清掃後下校
26	水	クラブ
27	木	チャレンジタイム
28	金	
29	土	
30	日	

### 【10月の主な行事】

- 1日(月) 朝会 5校時終了後下校
- 3日(水) 委員会
- 4日(木) 代表委員会
- 9日(火) 児童集会 クリーンデー
- 10日(水) 成文まつり
- 11日(木) 6年連合体育大会先頭練習
- 17日(水) 就学時健診(14:00~)
- 19日(金) 6年連合体育大会
- 22日(月) 読書週間(~26日)
- 23日(火) 6年卒業アルバム写真撮影
- 24日(水) クラブ
- 31日(水) 連合体育大会予備日

### 【夏休み作品展】

9月4日(火)~5日(水)

9:00~12:00  
15:00~16:00

\*1~3年：ランチルーム(南校舎1F)  
\*4~6年：理科室(南校舎1F)

児童たちが作品づくりで工夫し努力しているところや作品に込めた思いを、ぜひ見て感じていただきたく思います。ご来校をお待ちしています。

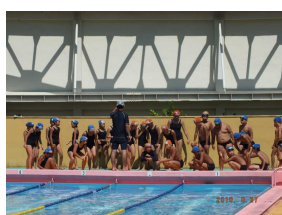
\*上げき 下靴入れ 名札をご用意  
くたさい  
School



## 【高学年の水泳練習の様子を紹介します】

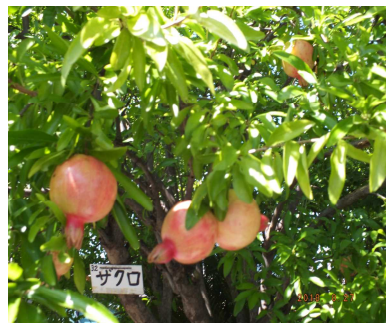
8月24日(金)、27日(月)、28日(火)、29日(水)の4日間、高学年は8月30日(木)に実施される『水泳記録会』に向けて練習します。27日は、気温32度、水温30度。久しぶりに入水した児童も多かったようです。参加した多くの児童が速く美しく泳いでいました。5年生で、25m泳ぎきるようになった児童は15人もいました。また、ほとんどの児童が自分のタイムを大幅に縮めていました。6月の時点で、25mクロールが29秒0だった児童が21秒3まで伸びました。5年生では、25mをクロールで、27秒1から21秒3と、5秒9も記録を縮めた児童もいました。2ヶ月で6秒～7秒近くも短縮してしまう児童の能力は、本当に素晴らしいです。ちなみに、クロール25mで一番早い児童のタイムは、17秒5、平泳ぎ25mは25秒2でした。練習の成果を『水泳記録会』でも発揮してほしいものです。また、遠泳でも、目標(クロール75m、平泳ぎ150mの両方又はどちらか)目指して練習に励んでいます。

さて、上のようなタイムを参考に『水泳記録会』の出場メンバーが決定します。できるだけ、大勢の児童が記録会に参加し、更に自分の記録に挑戦できるよう願っています。



## 【花壇にはいろいろな種類の『実のなる木』が植わっています】

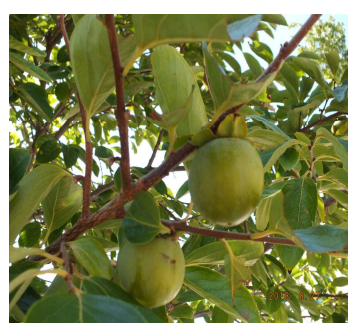
本校の『実のなる木』を紹介します。まず、正門を入ったところには、ザクロの実が多くなっています。今、ちょうど食べ頃となっています。ビオトープの周りには、ナシ、リンゴ、柿、イチジク、ミカン、サクランボの木が植えてあります。鉄棒の遊具周りには、ビワ、柿、サクランボ、イチジク、カリンの木。体育館の裏には、オリーブ、ミカン、レモン、キンカン、柚の木。校舎の裏側には、ビワ、キンカン、柿、ナシ、サクランボ、イチジク、レモンの木が植えてあります。大きな実がたくさんなった木がいくつもあります。



ザクロ



ミカン



柿

学年		6年		5年	
種目	性別	男	女	男	女
	個人種目	25m自由形	23"0	24"0	24"0
25m平泳ぎ		29"0	32"0	32"0	35"0
50m自由形		53"0	54"0		
50m平泳ぎ		61"0	71"0		
100mリレー		2チームまで出場可			
100mメドレーリレー		2チームまで出場可			

## 『いじめ』…人の『苦しみ・痛み』を思いやらない行為は、すべて

成文小学校：いじめ対応チーム代表〔校長〕 木戸 恒徳

『いじめ』の前に言葉を付けると?…と問われると、『弱い者〔いじめ〕』『陰湿な〔いじめ〕』『執拗な〔いじめ〕』などが、すぐに思い浮かぶのではないのでしょうか。というのは、『いじめ』は、一般的に、強い(?)者が、弱い者を、一方的に、陰にかくれてジメジメと、何度も何度も繰り返してやっていると捉えられ、イメージされていることが多いからです。この捉え方(イメージ)が間違っている訳ではありません。でも…、

(1)『心身の苦痛』を感じているもの…

学校〔文部科学省の指導の下〕では、『いじめ防止対策推進法』の施行に伴い、平成25年度から、『いじめ』を、「児童が、同じ学校の児童から心理的・物理的な行為を与えられ、その児童が心身の苦痛を感じているもの〔要旨〕」と捉えています。『強い(?)者が弱い者に、一方的に』とか、『陰にかくれてジメジメと』とか、『何度も何度も繰り返して』とかと言った条件〔要素〕の有無で『いじめ』を捉えていません。保護者の皆様には、学校〔文部科学省の指導の下〕での『いじめ』の捉え方は、一般的な捉え方とまったく同じという訳ではないことをご承知おきたいのです。



(2)「頑張っって解こうとしたのに」と、悔し(苦痛を感じての)涙が…

例えば、『算数の授業中、課題の文章題を解こうと頑張っていたAさん。隣のBさんは、もう解けて余裕。まだ解けずにいるAさんを見て、「あのね、これね、これがこうなってこうなるの、だから、答えは、これ、わかった?」と、Aさんを助けてあげます。その後、突然、Aさんが泣き出しました。訳を聞いた担任に、Aさんは、「自分一人の力で頑張っって解こうとしたのに…」と、涙が、悔し(苦痛を感じての)涙であることを伝えます。』

学校〔文部科学省の指導の下〕では、この例の場合、Bさんは、Aさんを『いじめ』た、Aさんは、Bさんに『(本人が意識したかどうかにかかわらず)いじめ』られた…と捉えます。そして、「Bさん、いきなり解き方を説明する前に、『Aさん、困っているの?教えてあげようか?』って、聞いてあげることができたら良かったね」と指導します。



(3)人の『苦しみ・痛み』を思いやれるように…

Bさんの周りの人が、「困っていたから助けてあげたのに、『いじめ』たなんて言われてバカみたい。もう、Aさんとは、かかわらんとし。Bさんは、何も悪くないよ」と話したとしたら、Bさんは、成長するのでしょうか。何がたりなかったのか気づくでしょうか。甘え方があまり上手じゃなくて、『ちょっかい・嫌がらせ(苦痛を与える行為)』をして、怒らせて、泣かせて、でも、自分に反応・対応してくれたことで、安堵し、ホッとする子がいます。人の『苦しみ・痛み』を思いやれるように、上手な甘え方で人との関係を健全に形成できるように、成文っ子みんなを愛情一杯の『思い』をもって育みたいものです。

